

寝る前に牛乳をいっぱい♡



(ラジオカーの取材を受ける小川香奈さん：左)

RCCラジオカー
小川香奈さん牛乳PR!

三月二十日 上下町 池田牧場

広略は酪農理解活動と牛乳・乳製品の消費拡大PRを行うため、RCCラジオカーを池田牧場(府中市上下町)に迎え、同牧場の小川香奈さんにそのPRをお願いしました。

小川さんはラジオを通じて酪農の仕事、教育ファームに込める思いを語られ、昨年十月に発足した「ときめき隊」での活動や、今後の取り組みについて持ち前の明るさと元気で話され、最後は「牛乳は

良質なタンパク質やビタミンなど、バランス良く摂れる身近な飲み物です。最近、寝付きが悪いという方、是非、毎日寝る前にコップ一杯の牛乳を飲んでみて下さいね」と牛乳・乳製品の消費拡大を呼び掛けられました。

放送後、直ぐに「ラジオを聞きました」との反響もあり、このことを通じて酪農の理解醸成・牛乳消費拡大に繋がることを期待します。

リサイクルコーナー

譲り渡したし

安芸高田市高宮町の山根温子組合員から酪農機器の売却希望がありました。

物件状況や譲渡条件等の問い合わせは、山根温子さんの携帯電話(090-1180-1136)にご連絡下さい。

バルククーラー (300L)
希望価格 5,000 円

ポケットミルクカー 2台 希望価格 5,000 円



ダンテナー船型 2t ダンプ用 H800 (購入から3年経過)

希望価格 100,000 円



真空ポンプ(100V用)16年式 希望価格 25,000 円



県内の酪農女性が集い交流
テーマは「地・紹・地・参」



ひろらく女性グループ連絡協議会 (3/18 グランラセーレ三次)

ひろらく女性グループ連絡協議会(委員長 山延眞智子)は、交流会を開催し、県内酪農女性四十四名が参加した。

交流会は、岡田典子委員の司会のもと行われ、主催者の山延委員長は、協力頂いた広酪と(一社)広島県酪農協会への感謝の意を伝え、「青色申告を済ませられ、ほっと一息つかれているところだと思います。今日はそんな疲れを癒すことのできる楽しいひと時を過ごして戴けることを願っています」と挨拶された。

続いて、岩竹重城組合長は、生乳生産の減退、TMRセクタ一の統合と新TMR飼料の積極的利用、育成牛減少に伴う生産基盤の弱体化懸念、乳価交渉資料としての税務申告データの提出への協力に加え、三浦貴美子理事の広酪初の女性理事誕生を紹介し、「広酪で



は役員選考規程で女性理事三名を努力義務としている。ぜひ女性グループから残り二名を選出頂きたい」と組合運営への女性参画を呼び掛けた。

交流会は二部構成で行われ、第一部では「地域を紹介して、地域を参考にする。地・紹・地・参」と題して、地域活動等の紹介を行い、各地域の活動と組合員紹介を写真で行った。第二部では「知食会」として会食をとりながら、他地域との情報交換等、日頃の疲れを癒す

和やかな交流会となった。

閉会にあたり、鈴木道弘専務(広酪)は「今日は女性の方々の生の声を聞くことが出来て大変良かった。広島は中国ブロックで乳質が最下位であるので良くしていきましょう」と挨拶し締めくくった。

■交流会の主な意見

- ① 県内の牧場の様子を知ることが出来てよかった。
- ② 各地域の農家さんの笑顔の写真がとても良かった。
- ③ 地域紹介も楽しく見せて貰った。
- ④ 年に一度、元気な人の顔を見るだけでも良い交流会だった。
- ⑤ 日頃逢うことの出来ない方々に酪農の話聞くことがとても嬉しい。
- ⑥ 平成二十六年度の活動は牛乳消費拡大活動を続けてほしい。
- ⑦ 私たち女性ももっと交流を深め全国で一番の乳量を出せるようにしたい。
- ⑧ 広酪には、少しでも儲かるように経営指導を行ってほしい。
- ⑨ 育成牛を減らさず乳をたくさん搾る。
- ⑩ 組合員視察も良いかと思った。
- ⑪ 女性グループ交流会を一回ではなく二〜三回に増やして戴き、出来るだけ参加していきたい。
- ⑫ 「TMR利用者のケアは充分にする」と組合長が話されたが、指導する者の育成を望みたい。



第33回ひろらく ブラックアンドホワイトショウ

(3/23 全農広島県本部三次家畜市場)

今後のB&Wショウは、消費者交流と一体化したい!!

経産グランドチャンピオン



名号：ブルートパーズ フラワー プラネット ET
出品者：藤本雄紀氏(庄原市)
(デーリイマン社 宮島径氏撮影)

未経産グランドチャンピオン



名号：ブルートパーズ アイオン サルト
出品者：藤井康浩氏(世羅郡)



広酪ホルスタイン改良同志会(会長 和田慎吾)は、第三十三回ひろらくブラックアンドホワイトショウを開催し、十四頭(二頭欠場)を出品した。

審査員は竹田秀臣氏(オールジャパンブリーダーズサービス株式会社営業部部长)を招き、厳選な審査のもと、経産グランドチャンピオンに藤本雄紀氏、未経産グランドチャンピオンに藤井康浩氏の所有牛が各々選ばれた。会場には酪農家や会員のご家族も応援に来られ、昼食の焼肉を食しながら交流を深めた。

和田会長は、交流会開会に際して、「酪農家の経営は、牛乳・乳製品を消費される方々により支えられていることを忘れてはならない。今後のB&Wショウは、県内のひろらく女性グループ連絡協議会や広酪メンバースクラブなどの組織と連携して、B&Wショウと消費者交流を一体化した大イベントの開催を通じて、酪農への理解並びに牛乳・乳製品の消費拡大を進めていきたい。そうした事情から、本日は、ひろらく女性グループ連絡協議会、広酪メンバースクラブの役員に参加を呼びかけ応じて頂いている」と紹介された。

第29回中国地区ブラックアンドホワイトショウ

(4/5~6、全農島根県本部中央家畜市場)

広酪ホルスタイン改良同志会(会長 和田慎吾)は、中国地区ホルスタイン改良協議会主催の第29回中国地区ブラックアンドホワイトショウに13頭(1頭欠場)を出品した。

審査員は、宮城県ホルスタイン改良同志会長で酪農家の半澤善幸氏が務められ、総計148頭の出品があり、広島から出品した第1部の藤井康浩氏の出品牛が1等3席、第4部で出品した藤本雄紀氏の出品牛が1等1席に輝いた。



■第1部(8ヶ月以上10ヶ月未満)1等3席
名号：ブルートパーズ アイオン サルト
出品者：藤井康浩氏(世羅郡)

■第4部(16ヶ月以上19ヶ月未満)1等1席
名号：ブルートパーズ フラワー プラネット ET
出品者：藤本雄紀氏(庄原市)

※写真は同上

広島市酪農振興協議会

三月十九日 いこい寿司

乳成分と飼養管理を学ぶ

広島市酪農振興協議会(会長 渡辺和裕)は会員ら十五名が出席し、平成二十五年度通常総会を開催した。

渡辺会長は挨拶で「昨年度のアベノミクスによる円安から、飼料高騰による酪農業界のダメージはあったが、昨年十月からの乳価値上げや副産物であるF1子牛の価格の上昇により何とか経営を続けられる状況にある。これからも会員相互で助け合いながら、これ以上、会員が減らないよう頑張ろう」と述べられた。総会は規約によって会長が議長を担い、全ての議案を承認し、無事総会を終えた。

その後、市川貴英所長(全酪連三次駐在員事務所)による「乳成分と飼養管理」と題した講演会を開催し、会員は関心をもって真剣な面持ちで聞き入っていた。

講演会終了後の懇親会では、皆わきあいあいと日常や酪農に触れて語り合い懇親を深めた。



(市川所長の講演を聴く参加者)

あきたかた酪農振興会

三月二十五日 高宮ミルクボーイ

『抛り所』桜を植樹

あきたかた酪農振興会(会長 泉秀利)は、高宮ミルクボーイに桜を植樹した。

同施設内には、広略の合併前(平成六年)にその前進団体であった「広島県北部酪農業協同組合」の植樹が行われていたが、樹齢を重ねるにつれ、立ち枯れが著しい状況になった。

振興会では桜の植樹を呼び掛け、会員他十六名が参加し、染井吉野・しだれ桜・八重桜の苗木十二本を植えた。これには岩竹重城組合長(広略)も参加され、「地域の活性化を図って、この苦しい酪農情勢を乗り切って戴きたい。広略もみわTMRセンターを整備し、安価で良質なTMR飼料を提供していきたい」と激励の言葉を添えた。



会員は今後、桜の成長を楽しみに酪農経営を頑張ろうと互いに励まし合い、植樹を祝った。

西部楽酪会

三月二十七日 北広島町・岩倉ファーム

わが愛牛をさらなる高みへ 牛群改良にヒント



(塚本氏の説明に注目する参加者)

西部楽酪会(会長 砂子拓也)は、乳牛改良を目的にバーンミーティングを開催。講師には塚本健二課長補佐(梶野澤組九州営業所)を招き、会員他九名が参加した。

塚本氏からは、牛を観察し「良い点・改良点のポイントと共に、将来を担う後継娘牛の産出にあたり、本牛への交配対象種雄牛選定へのアドバイスを受けた。

参加者はアドバイスに耳を傾け、我が家の経営にどう役立てて行くかを想像され、今後の牛群改良に向けて大きなヒントを得られたようであった。